

会社名 株式会社旅籠屋 上場取引所等 G R
 コード番号 4 8 0 7 本社所在都道府県 東京都
 代表者 代表取締役社長 甲斐 真
 問い合わせ先 責任者役職名 代表取締役社長 甲斐 真 TEL (03) 3847 - 8858

1. 平成 19 年 6 月期の業績 (平成 18 年 7 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(注) 1. 百万円未満は切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 6 月期	405	(28.8)	22	(187.6)	21	(341.4)
18 年 6 月期	314	(19.2)	7	(50.3)	4	(51.5)

	当期純利益	1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
19 年 6 月期	17 (996.9)	2,864 84	2,529 83	6.8	5.3	5.2
18 年 6 月期	1 (77.0)	282 96	248 10	0.8	1.1	1.5

(注) 1. 期中平均株式数 19 年 6 月期 6,245 株 18 年 6 月期 5,765 株

2. 会計処理の方法の変更 無

3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19 年 6 月期	388	274	70.4	43,810 46
18 年 6 月期	408	255	62.6	40,945 62

(注) 期末発行済株式数 19 年 6 月期 6,245 株 18 年 6 月期 6,245 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19 年 6 月期	40	38	36	18
18 年 6 月期	21	28	14	53

2. 平成 20 年 6 月期の業績予想 (平成 19 年 7 月 1 日 ~ 平成 20 年 6 月 30 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金 (円)				
				第 1 四半期	中間期末	第 3 四半期	期 末	年 間
	百万円	百万円	百万円					
通 期	535	20	15	-	-	-	0	0

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 2,401 円 92 銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

3. コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方およびその施策の実施状況

(コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方)

当社は、公正かつ効率的な経営に取り組むにあたり、コーポレート・ガバナンスが重要な課題であると認識しております。そのため、経営の意思決定の内容及び過程を明確にし、利害関係者の意思や利益を適切に反映し株主から信頼される経営を目指しております。

(コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況)

当社の取締役は、平成 19 年 6 月末現在 3 名で構成し、会社法で定められた取締役会のほか、必要に応じて臨時取締役会を開催し、法令で定められた事項や経営に関する重要事項を決定するとともに、業務遂行の状況を逐次監督しております。また、情報開示体制については、監査法人の指導を、随時受けながら、経営情報の迅速な開示を目的として、株主及び投資家に対して決算デ - タ等の情報開示に努めております。

以上

第 13 期 決算速報

(平成 18 年 7 月 1 日から平成 19 年 6 月 30 日まで)



平成 19 年 8 月 13 日

株式会社 旅籠屋

会社名 (定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名 (英文商号)	Hatagoya & Company
コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿 3 丁目 3 番 4 号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

当期の業績

(1) 損益計算書 (単位: 千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第4四半期 H18.4.1~ H18.6.30	第1四半期 H18.7.1~ H18.9.30	第2四半期 H18.10.1~ H18.12.31	第3四半期 H19.1.1~ H19.3.31	第4四半期 H19.4.1~ H19.6.30	第4四半期 H19.4.1~ H19.6.30		累計 H18.7.1~ H19.6.30
営業収益	売上高	89,666	128,694	89,875	91,225	95,298	405,094	+28.8%	314,531
営業費用	売上原価	75,496	77,899	77,769	79,719	89,616	325,005	+27.6%	254,781
	(注1)販売費及び一般管理費	13,330	12,685	14,301	14,463	15,866	57,317	+10.6%	51,831
	営業利益または営業損失()	839	38,109	2,195	2,957	10,184	22,771	+187.6%	7,918
営業外収益		41	57	28	64	33	183	15.7%	217
営業外費用		817	518	506	455	446	1,927	42.8%	3,371
	経常利益または経常損失()	62	37,648	2,674	3,348	10,597	21,027	+341.4%	4,764
特別利益		-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失		-	-	-	-	-	-	-	210
	税引前四半期(当期)純利益 または純損失()	62	37,648	2,674	3,348	10,597	21,027	+361.7%	4,554
法人税、住民税		876	730	730	730	944	3,136	+7.3%	2,923
	四半期(当期)純利益 または純損失()	813	36,917	3,405	4,079	11,541	17,890	+996.9%	1,631
	期中平均株式数	6,203株	6,245株	6,245株	6,245株	6,245株	6,245株	+8.3%	5,765株
	1株当たり四半期(当期) 純利益または純損失()	131円	5,911円	545円	653円	1,848円	2,865円	+2,583円	282円
	(注1)潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益	-	5,191円	-	-	-	2,530円	+2,282円	248円

(注1) 最終損益が損失となる期間については記載を省略しております。

(2) 貸借対照表 (単位: 千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	
		第4四半期末 H18.6.30	第1四半期末 H18.9.30	第2四半期末 H18.12.31	第3四半期末 H19.3.31	第4四半期末 H19.6.30	
(資産の部)	流動資産	現金預金	53,120	75,390	61,536	48,911	18,780
		その他	14,221	13,604	12,376	18,231	15,606
		流動資産合計	67,341	88,995	73,912	67,143	34,386
	固定資産	有形固定資産	271,512	269,408	269,876	267,414	274,491
		無形固定資産	2,576	2,461	2,346	2,431	2,296
		投資その他の資産	67,252	69,647	71,733	76,520	77,537
	固定資産合計	341,341	341,517	343,956	346,367	354,326	
	資産合計	408,683	430,513	417,869	413,511	388,713	
(負債の部)	流動負債		55,343	52,832	41,230	44,389	39,446
	固定負債		97,635	84,558	86,921	83,484	75,171
	負債合計		152,978	137,390	128,151	127,873	114,617
(純資産の部)	株主資本	資本金	331,000	331,000	331,000	331,000	331,000
		資本剰余金	68,916	68,916	68,916	68,916	68,916
		資本準備金	144,210	107,293	110,698	114,778	126,319
		利益剰余金	255,705	292,622	289,217	285,137	273,596
		繰越利益剰余金	500	500	500	500	500
		株主資本合計	256,205	293,122	289,717	285,637	274,096
	新株予約権						
	新株引受権						
	純資産合計	256,205	293,122	289,717	285,637	274,096	
	負債・純資産合計	408,683	430,513	417,869	413,511	388,713	
	発行済株式総数	6,245株	6,245株	6,245株	6,245株	6,245株	
	1株当たり純資産	40,945円	46,857円	46,312円	45,658円	43,810円	

(3) 株主資本等変動計算書 (平成 18 年 7 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	株主資本				新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	新株引受権	
		資本準備金	その他利益剰余金			
平成 18 年 6 月 30 日残高	331,000	68,916	144,210	255,705	500	256,205
第 1 四半期中の変動額 四半期純利益			+36,917	+36,917		
第 1 四半期中の変動額の合計			+36,917	+36,917		36,917
平成 18 年 9 月 30 日残高	331,000	68,916	107,293	292,622	500	293,122
第 2 四半期中の変動額 四半期純利益			3,405	3,405		
第 2 四半期中の変動額の合計			3,405	3,405		3,405
平成 18 年 12 月 31 日残高	331,000	68,916	110,698	289,217	500	289,717
第 3 四半期中の変動額 四半期純利益			4,079	4,079		
第 3 四半期中の変動額の合計			4,079	4,079		4,079
平成 19 年 3 月 31 日残高	331,000	68,916	114,778	285,137	500	285,637
第 4 四半期中の変動額 四半期純利益			11,541	11,541		
第 4 四半期中の変動額の合計			11,541	11,541		11,541
平成 19 年 6 月 30 日残高	331,000	68,916	126,319	273,596	500	274,096

(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き、正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5経理の状況 (5) 個別注記表 重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

固定資産の減価償却の方法	各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
経過勘定項目	未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しています。
税金の計上基準	法人税、住民税および事業税の年間見積り額の4分の1相当額を計上しています。
消費税等の会計処理	仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。

(5) 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産 定額法を採用しています。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。
建物:17～18年、構築物:15～20年、車両運搬具:4～6年、工具器具備品:3～8年
- (2) 無形固定資産 定額法を採用しています。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しています。
均等償却によっています。
- (3) 長期前払費用 定額法を採用しています。

2. リース取引の処理方法

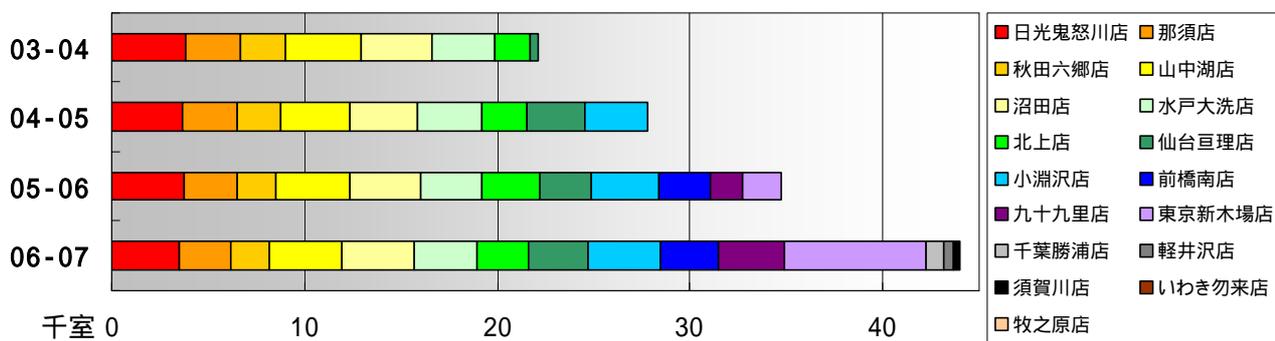
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

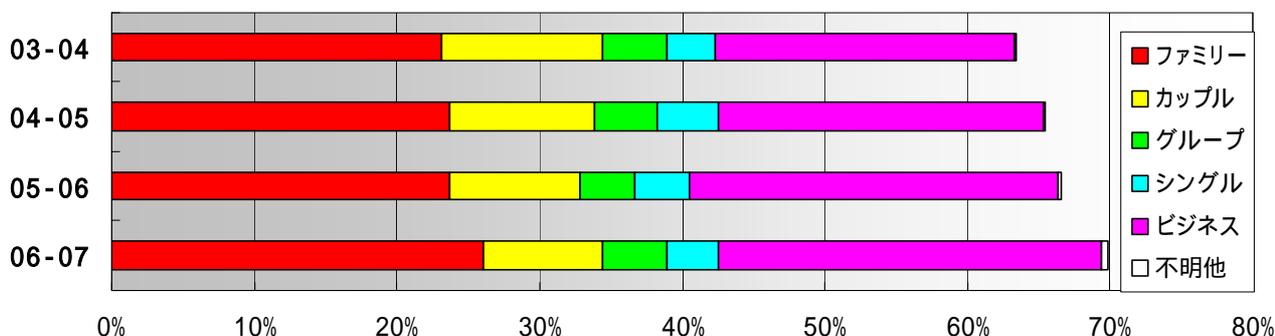
第13期（平成18年7月1日～平成19年6月30日）の業績の概況

利用客室数(全店合計、店舗別内訳)の推移（平成18年7月1日～平成19年6月30日）



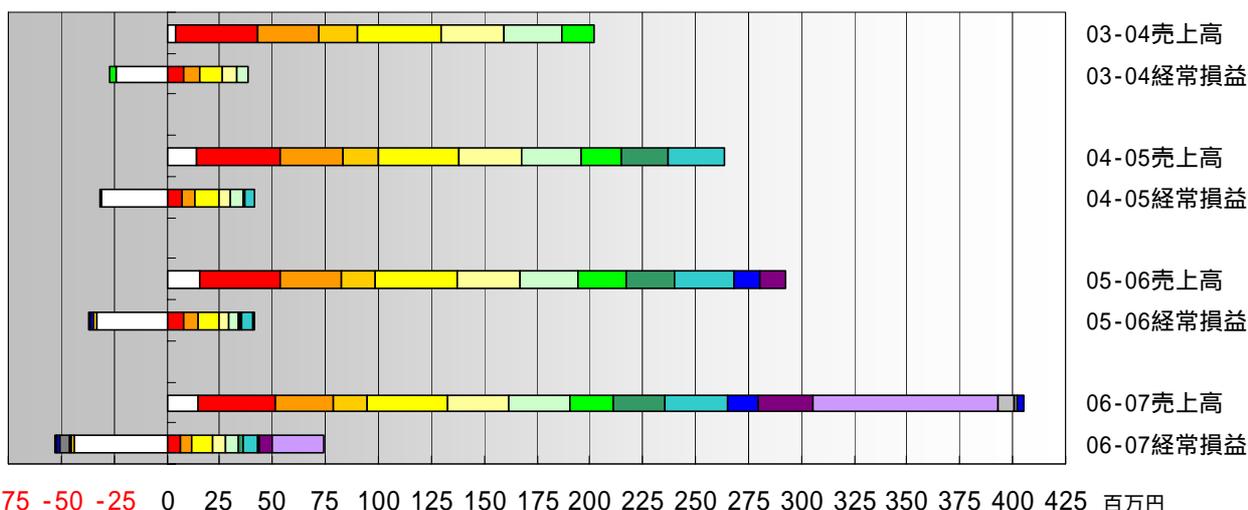
- ・前年度に比べ、店舗によって増減がありますが、既存店全体としては微増となりました。

客室稼働率(全店通算、構成内訳)の推移（平成18年7月1日～平成19年6月30日）



- ・客室稼働率は、前年度に比べ3ポイント以上アップし、約70%となりました（66.6 → 69.8%）。
- ・ファミリー客とビジネス客が増加し、カップルは減少傾向です。

売上高・経常損益(全社合計、部門別内訳)の推移（平成18年7月1日～平成19年6月30日）



- ・既存店の売上は横ばいでしたが、新規店舗が好調のため、売上高は順調に増加しています（+28.8%）。
- ・東京新木場店が大きな経常黒字を計上しており、全体の増益に大きく貢献しています。

部門別内訳 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第4四半期 H18.4.1～ H18.6.30	第1四半期 H18.7.1～ H18.9.30	第2四半期 H18.10.1～ H18.12.31	第3四半期 H19.1.1～ H19.3.31	第4四半期 H19.4.1～ H19.6.30	第4四半期 H19.4.1～ H19.6.30		累計 H18.7.1～ H19.6.30
本社	売上高	8,157	2,981	2,634	5,565	3,356	14,537	5.9%	15,454
	経常損益	5,697	9,929	11,933	9,022	12,802	43,688	-	38,562
日光鬼怒川店	売上高	6,996	13,730	8,392	7,067	7,458	36,648	3.3%	37,880
	客室稼働率	90	5,562	708	79	363	6,713	16.1%	8,005
那須店	売上高	6,217	11,209	5,437	5,237	5,948	27,832	5.2%	29,355
	客室稼働率	895	5,168	100	69	357	4,841	38.1%	7,821
秋田六郷店	売上高	4,608	6,160	3,307	2,361	3,495	15,324	2.2%	15,662
	客室稼働率	320	1,301	1,399	1,112	686	1,896	-	2,361
山中湖店	売上高	8,396	13,875	8,494	8,478	7,561	38,409	1.6%	39,015
	客室稼働率	1,985	6,091	1,830	847	1,404	10,173	13.4%	11,746
沼田店	売上高	6,243	8,063	6,890	7,785	6,052	28,790	2.0%	29,376
	客室稼働率	850	2,481	1,139	1,911	304	5,837	+6.8%	5,463
水戸大洗店	売上高	6,557	10,252	6,742	6,036	5,889	28,920	+3.9%	27,823
	客室稼働率	1,358	4,390	1,135	558	519	6,603	+11.0%	5,951
北上店	売上高	5,746	7,309	4,987	4,248	4,184	20,730	8.3%	22,610
	客室稼働率	362	2,084	645	396	1,452	408	-	1,512
仙台亙理店	売上高	5,651	7,959	5,481	5,354	5,600	24,395	+8.3%	22,531
	客室稼働率	165	2,382	422	142	36	1,852	+112.9%	870
小淵沢店	売上高	6,222	9,972	6,586	6,813	6,584	29,957	+5.2%	28,479
	客室稼働率	726	4,145	740	921	1,045	6,852	+20.0%	5,709
前橋南店	売上高(運営受託料)	2,550	3,695	3,601	3,278	3,345	13,920	+16.0%	12,004
	客室稼働率	381	816	308	75	112	1,162	-	1,677
九十九里店	売上高	5,243	8,720	5,653	6,081	5,782	26,238	+116.6%	12,112
	客室稼働率	356	3,565	474	884	714	5,638	-	399
東京新木場店	売上高	17,076	24,765	21,667	21,566	19,671	87,670	+294.5%	22,224
	客室稼働率	331	9,606	5,549	5,761	3,579	24,497	-	686
千葉勝浦店	売上高	-	-	-	1,351	5,832	7,183	-	-
	客室稼働率	-	-	93	1,739	1,332	501	-	-
軽井沢店	売上高(運営受託料)	-	-	-	-	1,948	1,948	-	-
	客室稼働率	-	19	83	872	3,354	4,330	-	-
須賀川店	売上高	-	-	-	-	2,585	2,585	-	-
	客室稼働率	-	-	84	880	637	1,601	-	-
いわき勿来店	経常損益	-	-	-	-	379	379	-	-
牧之原店	経常損益	-	-	-	-	339	339	-	-
全社合計	売上高	89,666	128,694	89,875	91,225	95,298	405,094	+28.8%	314,531
	客室稼働率	62	37,648	2,674	3,348	10,597	21,027	+341.4%	4,764
		67.5%	76.1%	70.9%	68.0%	65.1%	69.8%	+3.2p	66.6%

- ・店舗の増加により、前年度に比べ売上高は大きく増加(+28.8%)し、4億円を超えました。
- ・本社は、スタッフ増員などにより費用が増えたため、経常損失は拡大(38,562 43,688千円)しました。
- ・日光鬼怒川店、那須店、秋田六郷店、山中湖店、北上店は、客室稼働率・売上高ともに前年度に比べ減少し、北上店は赤字となりましたが、秋田六郷店は、費用の減少により損失額は少なくなっています。
- ・沼田店、小淵沢店、東京新木場店の客室稼働率は80%を超え、全体の稼働率アップに寄与しています。
- ・水戸大洗店、仙台亙理店、小淵沢店、前橋南店の業績が伸び、前橋南店は2年目で黒字となりました。
- ・九十九里店と東京新木場店はオープン後1年半余りですが、きわめて順調で、増益に大きく貢献しています。
- ・今春オープン千葉勝浦店・軽井沢店・須賀川店は、初期費用などが大きく、いずれも赤字となっています。

第14期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第12期 通期実績 H17.7.1～ H18.6.30	期別 第13期 通期実績 H18.7.1～ H19.6.30	第14期 予想				
			第1四半期 H19.7.1 ～9.30	第2四半期 H19.10.1 ～12.31	第3四半期 H20.1.1 ～3.31	第4四半期 H20.4.1 ～6.30	通期 H19.7.1 ～H20.6.30
売上高	314,531	405,094	165,000	120,000	120,000	130,000	535,000
経常損益	4,764	21,027	50,000	7,000	8,000	15,000	20,000
当期純損益	1,631	17,890	49,000	8,000	9,000	17,000	15,000

売上高については、年内オープン予定の「金沢内灘店」「葦崎店」に加え、来年度内に数店舗のオープンを予定しているため、5億円を超える見通しです。ただし、利益については、新規オープンの店舗が増え、出店関連費用の増加が見込まれるため、今年度を下回ることを予想しています。新規店舗を早期に軌道に乗せて利益を計上し、今年度を上回れるよう努めたいと考えています。

資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第12期 第4四半期 H18.4.1～6.30	期別 第13期 第1四半期 H18.7.1～9.30	期別 第13期 第2四半期 H18.10.1～12.31	期別 第13期 第3四半期 H19.1.1～3.31	期別 第13期 第4四半期 H19.4.1～6.30
現金および預金の四半期首残高	28,105	53,120	75,390	61,536	48,911
現金および預金の四半期末残高	53,120	75,390	61,536	48,911	18,780

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 第12期 第4四半期 H18.4.1～6.30	期別 第13期 第1四半期 H18.7.1～9.30	期別 第13期 第2四半期 H18.10.1～12.31	期別 第13期 第3四半期 H19.1.1～3.31	期別 第13期 第4四半期 H19.4.1～6.30
短期借入金の四半期首残高	-	-	-	-	-
短期借入金の四半期末残高	-	-	-	-	-

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示) 1年以内返済予定額を含みます。

科目	期別 第12期 第4四半期 H18.4.1～6.30	期別 第13期 第1四半期 H18.7.1～9.30	期別 第13期 第2四半期 H18.10.1～12.31	期別 第13期 第3四半期 H19.1.1～3.31	期別 第13期 第4四半期 H19.4.1～6.30
長期借入金の四半期首残高	199,470	136,753	125,368	114,404	107,270
長期借入金の四半期末残高	136,753	125,368	114,404	107,270	100,279

借入金の減少は、約定返済によるものです。

(4) 投資その他の資産の内訳 第13期末(平成19年6月30日)時点(千円未満は切り捨てて表示)

40,761千円	…	借上直営店における差入れ保証金(契約満了時返済)
29,000千円	…	「軽井沢店」における建設協力金(10年均等償却)
4,066千円	…	借地直営店における借地権利金(20年均等償却)
2,500千円	…	長期性預金
1,210千円	…	取引信用金庫などへの出資金

今後の事業展開と出店計画について

「いわき勿来店」「牧之原店」がオープン

「いわき勿来店」「牧之原店」が予定通り、それぞれ7月14日、7月25日にオープンしました。



いわき勿来店



牧之原店

「金沢内灘店」のオープン予定日が決定

現在建築工事中の「金沢内灘店」のオープン予定日が10月1日（土）に決まり、予約受付を開始しています。

「菰崎店」のオープンが決定

すでにお知らせしたとおり、8月初めに「菰崎店」の出店契約がまとまり、12月オープンの予定で工事が始まっています。なお、「東京新木場店」「千葉勝浦店」「須賀川店」「いわき勿来店」「牧之原店」と同様、業務提携先である（株）リサ・パートナーズとの共同プロジェクトによる出店です。

高速道路パーキングエリアへの出店を計画中

これも、すでに公表したとおり、西日本高速道路（株）と共同で、2008年春のオープンを目指し、関門自動車道（下り線）「壇之浦PA」隣接地（PAとの連結を予定）への出店を計画中です。これを機に各地の高速道路SA・PAへの出店を実現し、ロードサイドホテルの普及を促進したいと考えています。

その他の出店計画

上記に加え、来春にかけて複数のオープンがほぼ決まっており、現在最終的な作業を進めているところです。

客室からのネット接続を可能に

お客様からの要望に応え、6月から7月にかけて既存店に電力線通信の機器を設置し、全店のすべての客室（水戸大洗店の3室のみ除く）からインターネットに接続いただけるようにしました。

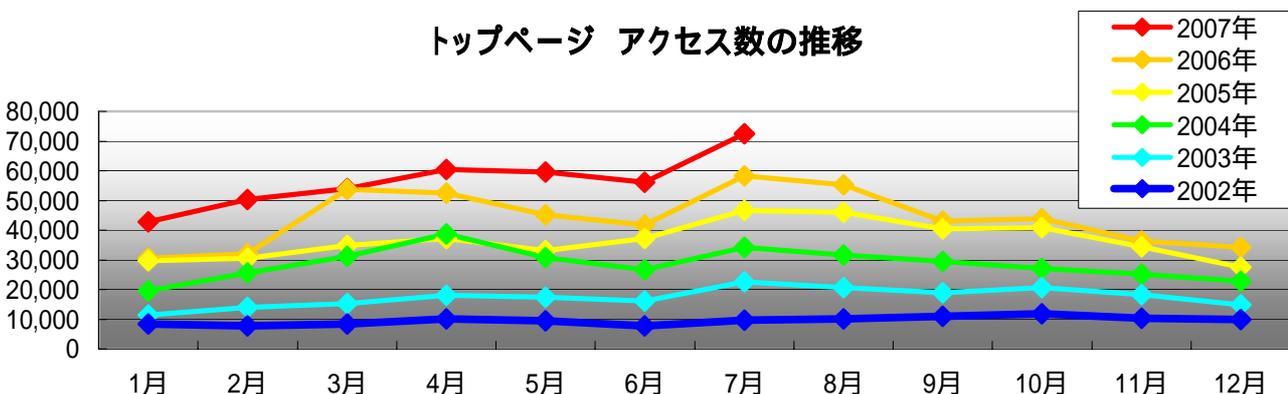
社内体制の見直し

引き続き、業務内容や職務分掌を整理再構成するとともに、店舗の管理体制を整備強化しているところです。そのため、7月末に本社オフィスのスペースを拡大し、今秋にはスタッフの増員を図る予定です。

広告宣伝の計画

7月下旬に発売された「日経ベンチャー 8月号」に1頁広告を掲載しました。

なお、ホームページへのアクセス数の推移は以下のとおりです。



以上